



御田小 研究だより

平成31年1月8日
港区立御田小学校
校長 濱尾 敏恵

第5回研究授業報告

日時：平成30年12月12日（水）5校時
学級：2年1組 授業者 岩崎 薫

<道徳> 「黄色いベンチ」（主題名：みんなでつかうもの）

<授業でねらっていること>

○みんなで使う物を使うときは、他の人のことをよく考えて使おうとする気持ちを育てる。

【授業の工夫】

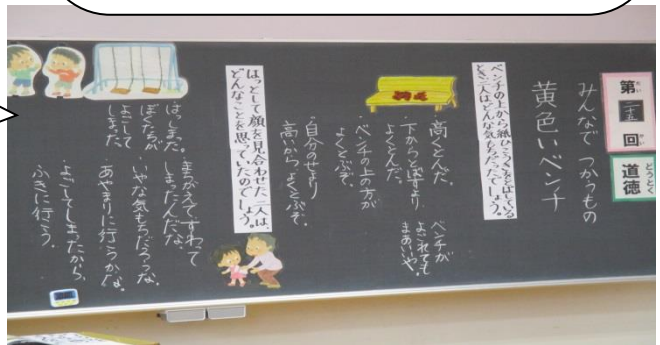


導入の工夫（視覚化）

事前アンケートで出た「みんなで使う物」の写真を見て、具体的にイメージしながら、学習をスタートさせました。授業の後半では、再びこの写真を見ながら自分自身の経験の振り返りをしました。教材文で取り上げられているベンチだけでなく、多様な「みんなで使う物」について考えることができました。

板書の工夫（視覚化）

黒板をパネルシアターのように使い、公園での出来事を整理しながら学習しました。このことで、夢中で紙飛行機を飛ばしたり、自分たちの失敗に「はっ。」と気付いたりする主人の気持ちに共感し、多様な考えを発表することができました。



話し合い活動の工夫（学習形態の工夫）

机の配置をコの字型にして、友達のことを共有しやすくしたり、少人数の話し合い活動を取り入れて、一人ひとりが自分の考えを表現する場を設定したりしました。

書く活動の工夫（焦点化）

「みんなで使う物」を、どのように使っているか、道徳ノートに書きました。自分自身の経験について振り返りながら、具体的に書くことができました。



<授業を終えて>

普段の生活を見ていると、子供たちは「みんなで使う物だから大切にしよう」という意識をもっています。ただ遊びに夢中になっているときなどに、自分本位に行動してしまうこともあります。今回の授業が、他の人のことまで考えて行動するきっかけとなればと思います。